

2009年5月10日

日本地質学会
会長 宮下純夫

2008年度第13回理事会 議事録

期 日：2009年4月11日（土）13:00～15:00

場 所：地質学会事務所

出席者：宮下会長，高木副会長，佃副会長，渡部常務理事 藤本副常務理事 岩森 上砂
倉本 齋藤 坂口 久田 藤林 向山 矢島 各理事，橋辺（事務局）

欠席者：井龍 石渡 小嶋

*成立員数（12/17）に対し，出席者 14名，委任状2名，欠席者1名で，理事会は成立.

*前回議事録の承認

報 告

1. 運営財政部会（部会長-上砂，向山，倉本，坂口）

総務委員会（委員長-上砂）

- ・富士学会より、富士山科学的看板設置推進委員会として関係機関に要請を提出するための書類に他学協会と連名で捺印。
- ・学術会議より「新公益法人への対応及び学協会の機能強化のための学術団体調査」の中間報告があった。
- ・地下水学会 50周年記念式典への招待伺いについて、会長の代理で高木副会長が出席予定。
- ・日本原子力学会 50周年記念式典への招待状に対し、都合悪く欠席の返事
- ・地惑連合代表者懇談会開催（5/19）、会長が出席予定
- ・筑波大学 2009年度「科学の芽賞」の後援依頼があり、承諾した。
- ・発明の新規性喪失の例外規定の適用を受けるための出願、学術団体指定申請書の提出については提出することとした。
- ・とやま賞への推薦は残念ながら受賞には至らなかった。

会員関係（担当理事 向山）

- 1) 入会者 8名（正5，院3）

- (正) 菅 惠一, 中村祐治, 浅野裕史, 福田登志郎, 清崎淳子
(院) 滝沢顕吾, 東宮 照, 深井勇年
- 2) 退会者 17名 (正 12, 院 5)
(正) 安藤善之 青木守弘 毛利 崇 後藤和則 田中美那 奥田之宏 大野 実
吉田健一 増山孝行 清崎聖一 増田宏己 金井勝宏
(院) 加藤欣也 吉内 佑佳 熊田祐子 半谷徳章 半田さつき
- 3) 逝去者 (名誉 1) 勘米良亀齡 (2009/4/6)
- 4) 3月末日会員数
賛助 30, 名誉 73, 正 4, 118 (うち院 235), 準 30, 合計 4, 251 (前年同期比-108)
- 5) 50年会員顕彰者 14名 (回覧)
・4月定例評議員会への報告から漏れたので、評議員会議事録とともに確認を取る。
鹿島愛彦 小池敏夫 小林忠夫 小村精一 坂口和則 高山俊昭 手塚高清
野田浩司 町田 洋 松山幸弘 丸山順弘 森 啓 盛谷智之 山崎貞治

地球惑星科学連合 (久田連絡委員)

- ・連合法人整備委員会 (高木委員)
- ・連合情報委員会 (坂口委員)

会計関係 (担当理事 向山)

広報委員会 (担当理事 倉本=情報特任・坂口)

- ・惑星地球写真コンテストの実施案を検討。

2. 学術研究部会 (部会長-石渡)

行事委員会 (担当理事・委員長 斎藤)

- 1) 岡山大会準備状況について
 - ・News 誌 4月号に予告記事掲載準備中、プログラムは7月号、例年より1か月前倒し
 - ・講演締切 6/23、参加登録締切 8/17
- 2) 地質情報展の大枠
 - ・展示日程 9/5-6(土日), 9/4 設営, 午後 press 公開
 - ・会場 デジタルミュージアム 展示室と講義室
 - ・地質学会は展示室の一部と講義室の9/5(全日), 9/6 午前を使用。
会場費地質学会負担 132, 400 円 (講義室の2日分)
- 3) 2011年大会: 中部支部担当、富山大学で開催

日程：2010年9月18日（土）～20日（月・祝日）

場所：富山大学

実行委員会 委員長：竹内 章（富山大学）、事務局長：大藤 茂（富山大学）、普及・企画（市民講演会）：藤田将人（富山市科学博物館）、見学旅行については、他大学に依頼予定

4) 日本地質学会の行事として、5月10日（会場：東京北の丸 科学技術館）に鎌田浩毅会員を講師に市民講演会を開催

3. 編集出版部会（部会長-久田，小嶋，岩森，井龍）

地質学雑誌編集委員会（委員長 久田 副委員長-小嶋，岩森=企画担当）

・今月の編集状況は以下の通り（4月10日現在）.

115-04月号：論説3 短報1 口絵1 （43p. 校正中）

2009年度投稿論文 総数17編 [論説6（和文6），総説3（和文3）短報6（和文6），ノート2（和文2）] 口絵2（欧文1・和文1）

投稿数昨年比 -13 査読中65編 受理済み23編（うち論説6 特集号17）

- ・ J-STAGE 公開用 PDF のカラー図表の差替掲載について，著者負担（¥5,000/論文）で115巻5月号掲載分より実施予定
- ・ まもなく特集号「プレート沈み込み帯と地震」が掲載の見込み（6-7月号の見込み）
- ・ 地質学雑誌の編集規則について
ニュース誌に関連する部分は除く．ニュース誌は、現状の地質学雑誌の付録という位置づけから，社団法人では独立した出版物とするため。

企画部会報告（岩森）

- ・ インパクトファクター付帯化に関して、3/23のJ-STAGEセミナーへ出席
Web of Science への登録し選定状況や選定基準について確認した。

Island arc 編集委員会（担当理事 井龍，事務局長 竹内圭史・角替敏昭）

- ・ IAR 編集委員会規則ならびに編集事務局規則の改正について最終検討案
- ・ Wiley-Blackwell 社より、IAR2010年購読価格の変更について

企画出版委員会（担当理事 藤林）

- ・ 国立公園地質リーフレット：「屋久島」校了 印刷部数 4000部

4. 普及教育事業部会（部会長-矢島，藤林）

地学教育委員会（委員長-中井均）

・学会行事等で地学教育に貢献した方を表彰してはどうか、という委員会の意見が報告された。

5. 各委員会等

支部長連絡会議（担当理事 高木）

法人への移行の方針を踏まえ、6月を目処に支部規則案を支部に提示する予定

地質災害委員会（担当理事 藤本）

JABEE委員会（委員長 天野）

技術者継続教育委員会（PDE）（委員長 公文）

ジオパーク支援委員会（委員長 天野）

法人化作業委員会（担当理事・委員長 渡部）

法務委員会（担当理事・委員長 上砂）

・知的財産基本法による著作物の保護に関し、論文の複製・転載に必要な手続きについて会員に周知するための記事「報告書等の作成に関して一知っておくべきこと」を geo-Flash No. 61 および News 誌に掲載することを承認

名誉会員推薦委員会（委員長・担当理事 佃副会長）

今後の検討課題として、以下の論点が報告された。

（1）人数が他の学会等に比べて多いのもう少し絞る必要があるのではないか。

（2）ジオパークや国際交流の発展で、会員以外の方も表彰できるようにするべきではないか。

6. 地質の日委員会（藤林委員）

7. IYPE 日本（佃副会長）

・4月9日 日本学術会議において、第21期のIYPE小委員会が正式に立ち上がった。

委員長:佃, 副委員長:倉本

・2010年3月にIYPEを締めくくるアウトリーチイベントが企画されている。地質学会にも参加要請。

・5月2日東京地学協会のIYPEイベントへの参加要請

→ <http://wwwsoc.nii.ac.jp/tokyogeo/news/0000000076.html>

8. 日本ジオパーク委員会（高木委員）

9. 地学オリンピック日本委員会（久田）

4名の日本代表を決定した。5月の地球惑星連合大会で表彰する。

審議事項

1. 総会議案資料について

内容を確認した。

2. 惑星地球写真コンテスト実施について

広報委員会から提案のに基づいて6月に募集開始の予定

3. その他

先の評議員会より懸案であった大学における地学系のフィールド教育の強化のための全国的な連携について、文部科学省の「大学教育充実のための戦略的大学連携支援プログラム」に応募できるかどうかを検討することとした。

*次回の理事会

5月10日(日) 10時半から (学会事務局)

*総会開催、時間は目安です

任意団体総会 5月17日(日) 17:45-18:45

法人総会 5月17日(日) 18:45-19:45